

【重点目標4 重点取組評価シート】

基本方針	県内市町村立図書館、学校図書館等との連携を進め、図書館ネットワークの中核施設としての機能を充実する。				
重点目標4	図書館ネットワークの中核機能の充実				
重点取組	県内市町村立図書館、学校図書館等への支援の充実と人材育成				
1 総合評価	R1年度	5	5:目標を上回っている 4:目標に達している 3:目標の8割以上達している 2:目標には達していないが、一定の進捗が見られる 1:目標達成に向けた進捗が見られない	※数値の達成だけでなく総合的な評価とする	
	R2年度				
	R3年度				
2 評価理由	<p>県内市町村立図書館、学校図書館等との連携を進め、基本的な研修から専門的な研修まで各種研修による支援を行い、人材育成に努め、図書館ネットワークの中核施設としての機能を果たした。図書館、学校職員等のニーズを踏まえた研修の開催に努め、高い満足度につながったと思われる。投入指標、活動指標、満足度のいずれも目標値を上回る実績を上げたため、評価を「5」とした。</p> <p>なお、投入指標の図書館、類縁機関、学校等を対象にした研修・講座の開催回数における目標値については、定例的な研修・講座の回数を目標値に設定している。昨年度目標値を設定する際に計上していなかったものが判明したため再度集計し、開催回数及び参加者数の目標値の変更を行った。</p>				
3 数値目標及び達成状況			R1年度	R2年度	R3年度
投入指標	図書館、類縁機関、学校等を対象にした研修・講座の開催回数	目標値	30回	30回	30回
		実績値	38回		
		達成率	127%		
活動指標	図書館、類縁機関、学校等を対象にした研修・講座の参加者数	目標値	1,470人	1,485人	1,500人
		実績値	1,627人		
		達成率	111%		
満足度	図書館、類縁機関、学校等を対象にした研修・講座の満足度 ^{*1}	目標値	4.5以上	4.5以上	4.5以上
		実績値	4.7		
		達成率	達成		
*1 図書館、類縁機関、学校等を対象にした研修・講座の満足度:5段階評価(参加者対象のアンケートより算出)					
4 行動計画及び取組状況					
	取組内容	行動計画(主な取組)			
4-1	県内市町村立図書館等職員向け研修事業の効果的なプログラムの検討と実施	経験年数に応じた職員研修及び県内図書館のニーズを踏まえたトピック研修について、効果的なプログラムを検討し実施する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	図書館新任職員研修会(2回、189人)、図書館中級職員研修会(4回、55人)、公共図書館等職員研修会(3回 関東地区公共図書館協議会総会及び研究発表大会と図書館情報交流会in埼玉、247人)、県図書館協会専門委員会研修(参考調査:7回、153人、地域資料:2回、46人、障害者サービス:2回、81人、児童サービス:5回、384人、合計16回、662人)他			
4-2	県内市町村立図書館等の職員への研修機会の提供	県内市町村立図書館等および教育機関を対象にビジネス支援サービスに関する情報提供を行い、職員研修を開催する。 県内における在留外国人数が年々増加傾向にあり、その窓口となる県内市町村立図書館や県立高校図書館等の支援のため、海外資料サービスの広報や情報提供を継続的に実施し、研修を開催する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校初任者研修教科別研修(商業)(6月12日、5人、満足度=5.0)、ビジネス支援サービスに関する職員研修「ビジネス・ライブラリアン研修交流会」(動画配信、18人)、県庁職員向けデータベース活用講座(法情報)(10月29日、10人、満足度=4.9) ・「高校図書館研究会夏季研究集会」の分科会「多言語文化とサービス」を県立高校図書館職員向けに実施。(8月22日、15人) 			
4-3	県内市町村立図書館等の健康・医療情報サービス開始・充実の支援	各種レファレンスツールの作成や研修会の実施を通して県内市町村立図書館等における健康・医療情報サービスの開始・充実を支援する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	・健康・医療情報基礎研修会フォローアップ研修(3回、122人、満足度=4.7)			

4-4	学校等の特別支援教育活動への支援	学校、各機関に向けて、県立図書館の障害者サービスの広報に努め、発達障害等に対応した資料(マルチメディアデージー、布絵本や障害を理解するための資料の紹介を通じ、特別支援教育活動への支援を行う。	投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	・特別支援学校教員等の研修会や学校関係者の集会における展示・広報(8回)、布絵本の貸出(13件、120点) ・騎西特別支援学校の学校図書館の運営支援(図書の選書・除籍、レイアウト変更等の支援)	
4-5	子ども読書支援センターの学校支援拡充	学校図書館関連講座を計画・実施し、子ども読書支援センターの学校支援を拡充する。	投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	・学校図書館活用講座の実施(2回、58人、満足度=4.6)	
4-6	県立図書館職員の専門的能力向上のための研修計画・実施	高度で専門的なサービスに携わる司書職員の能力向上のため、有用な外部研修への参加を継続するとともに職場全体のスキルアップを目指して内部研修を実施する。	その他
	実施状況	・有用な外部の研修(図書館司書専門講座、医学図書館員基礎研修会等)に参加 ・県立2館の館内研修(15回、489人)を企画、実施	
4-7	図書館資料搬送システムの整備	図書館協力業務を円滑に実施するための新搬送ルートの検証(2019.10～)および外部書庫連絡便の運行体制の検討・実施を行い、図書館資料搬送システムの整備を進める。	その他
	実施状況	・相互貸借資料の県内物流ネットワークの中心として、県立熊谷図書館から県内市町村立図書館等に車を運行。効率化を図るため、10月1日から新ルートによる搬送を開始、市町村立図書館からの要望と検証結果を踏まえ搬送システムを改善した。 ・資料搬送点数:860,562点(出勤回数:546回)	
4-8	県内市町村立図書館等との協力担当者会等の継続開催	県内市町村立図書館等との円滑な協力業務実施のため、協力業務の実務的課題を協議・検討する「図書館協力担当者会」を定期的で開催し、「図書館新任職員研修会」では協力業務のガイダンスを行う。	その他
	実施状況	・図書館協力担当者会(2回、152人)、高等学校図書館との連絡会議(1月17日、4人)、公民館図書室等実務担当者会(8月23日、3人)。	
5 取組による成果	<p>(1) 県内市町村立図書館職員向けの研修として毎年行っている、初任者・中級研修と経験別に分けた研修と、専門的な研修(参考調査・地域資料・障害者サービス・児童サービス)と、様々なテーマで開催する公共図書館等職員等研修会等は、市町村立図書館のサービスを支える研修として高い満足度を得た。</p> <p>(2) 「健康・医療情報基礎研修会フォローアップ研修」は、講演・ワークショップも含め、身近な事例を紹介し、健康・医療サービスを具体的にイメージしやすい内容となった。</p> <p>(3) 障害者サービスの広報活動をきっかけに特別支援学校から相談を受け、初めて特別支援学校の学校図書館に出張運営支援を行い、今後の支援の方向性を得ることができた。</p> <p>(4) 学校図書館講座は例年久喜図書館を会場として開催していたが、今回、深谷市立図書館と連携し、初めて北部地域でも開催した。</p> <p>(5) 新ルートでの搬送により効率的な資料搬送を実現することができた。</p> <p>(6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「ビジネス・ライブラリアン研修交流会」は動画配信形式、「参考調査研修会全体会」は埼玉県図書館協会ウェブサイト上で講義資料掲載・質疑募集・講師回答掲載という形式で実施し、今後の研修の方法として参考となる事例となった。</p>		
6 課題及び次年度取組	<p>[課題]</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた研修内容・開催方法等の検討</p> <p>[次年度取組予定]</p> <p>(1) 基礎的な研修から社会状況に応じた実務まで、図書館運営に効果的なプログラムの企画・実施</p> <p>(2) 特別支援学校の図書館運営支援</p>		